

あとがき

<編集顧問> <編集委員>

越智隆弘	糸満盛憲
小野啓郎	荻野利彦
竹光義治	菊地臣一
守屋秀繁	黒坂昌弘
山室隆夫	清水克時
矢部 裕	高岸憲二
	富田勝郎
	戸山芳昭
	吉川秀樹

<編集同人>

井形高明	澤村誠志
生田義和	杉岡洋一
井樋栄二	田辺剛造
岩田 久	田畑四郎
岩本幸英	玉置哲也
大井利夫	中村耕三
小野村敏信	馬場久敏
加藤博之	浜西千秋
金田清志	廣谷速人
黒川高秀	佛淵孝夫
腰野富久	三笠元彦
紺野慎一	三浦隆行
櫛田喜三郎	持田讓治
酒匂 崇	山田治基
桜井 実	吉川靖三

<連載>「臨床研修医のための整形外科」第9回目は「骨・軟部腫瘍」がテーマです。私は一昨年から2年間、日本整形外科学会の専門医試験担当理事の仕事をしていただきました。試験問題を作る仕事です。毎年、専門医試験の後には受験者の感想をアンケートにして集計しますが、そのなかに「頻度の低い腫瘍の問題が多いのに、頻度の高い外傷の問題が少ない」、「もっと外傷の配分を高くしてくれたら高得点がとれるのに」という感想をしばしば見受けました。外傷の多い一般病院に勤務しておられる受験生が多いためだと思います。一般病院で日常的に外傷をたくさんみていると、その谷間に致死性の悪性骨・軟部腫瘍が隠れてしまうことがあるので、専門医の資格試験としては、この配分を変えるわけにはいきません。著者の高橋正明先生が強調しておられるように、悪性骨・軟部腫瘍を疑うこと、疑ったら一刻も早く専門病院に紹介することが大切です。本稿を読んで、骨・軟部腫瘍の知識をもつことが大切なことはもちろんですが、同時に卒後研修の一時期に大学病院や腫瘍専門病院で悪性骨・軟部腫瘍を集中的に経験することが必要と、改めて感じました。

誌上シンポジウムは「骨折治療の最新知見—小侵襲骨接合術と Navigation system」がテーマです。この分野の進歩には、術中 CT、透視可能な手術台など、高額な設備が必要です。この点について、複数の著者が論文の中で指摘しておられます。高額な設備投資や集学的医療の実現には、外傷医療の集約化、保険点数の再評価など政治、経済にかかわる問題を含み、医師の配置にも影響します。しかし従来わが国では、腫瘍の分野と違って、外傷医療の集約化が進んでいません。外傷医学の進歩に見合った外傷医療の集約化は、改めて議論すべき大きな問題ではないかと思います。

休暇で世界遺産、熊野古道の近くに来て、この「あとがき」を書いています。世界遺産に選ばれる前は、陸の孤島とも呼ばれていた辺鄙な所でしたが、世界遺産に登録されてからは、アクセスがよくなった代わりに、静寂が失われてきています。せめて、自分の心の中で秘境を確保しようと、テレビなし、エアコンなしで生活しています。

(清水克時)

臨床整形外科 (第42巻 第9号)

2007年9月25日発行(毎月1回25日発行)

定価 2,520 円(本体 2,400 円+税 5%)

(2007 年ぎめ予約購読料 29,400 円
(但し、増大号を含む)(配送料弊社負担))

E-mail rinseige@igaku-shoin.co.jp

Web <http://www.igaku-shoin.co.jp/mag/rinseige>

発 行 株式会社 医学書院

代 表 者 金原 優

〒113-8719 東京都文京区本郷 1-28-23

電話 編集室直通 (03) 3817-5702(担当:石井・山崎)

販売部直通 (03) 3817-5659・5660

ファクシミリ (03) 3815-7802

振替口座 00170-9-96693 番

印刷所 三報社印刷(株) 電話 (03) 3637-0005

広告申込所 (株)医業広告社 電話 (03) 3814-1971

・ Published by IGAKU-SHOIN Ltd. 1-28-23 Hongo, Bunkyo-ku Tokyo © 2007, Printed in Japan.

・ 本誌に掲載する著作物の複製権・翻訳権・上映権・譲渡権・公衆送信権(送信可能化権を含む)は(株)医学書院が保有します。

・ JCS<(株)日本著作出版権管理システム委託出版物>

本誌の無断複写は著作権法上での例外を除き禁じられています。複写される場合は、そのつど事前に(株)日本著作出版権管理システム(電話 03-3817-5670, FAX 03-3815-8199)の承諾を得てください。